

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 11 月 9 日 (18 : 00 ~ 20 : 00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 8 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	10 人	2 人	0 人	13 人

前回の改善計画	申し送りノート、業務日誌、日誌用メモ、ケースファイルといった情報共有の方法を最大限活用する。申し送りの実施にこだわらず、日々の職員間での情報交換・情報共有を重要ととらえ、得た情報は伝える、自分から情報を取りにいくという意識を全職員が改めて持つようにする。未実施の家族会を開催する。
前回の改善計画に対する取組み結果	申し送りの時間や記録を通じて、情報交換・情報共有ができています。1 回だけではあるが、家族会を実施できた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	10	2	0	13
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	0	8	5	0	13
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	1	8	4	0	13
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	5	7	0	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>午後の時間に申し送りを実施することが定着化し、情報共有・情報交換についての職員の意識も高くなった。申し送りの時間や記録、職員同士のコミュニケーションを通じて、情報共有・情報交換はできている。送迎時や家族来所時に、ご家族へできるだけ声かけをしている。新規の利用者に対しては、表情や様子をみながら言葉を選んで声かけし、できるだけ多く関わるように努めている。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>ご家族と関わる時間や交流が少なく、ご家族からの聞き取りやご家族の意向の把握が十分にできていない。ご家族へ利用中の様子を伝えることはできても、ご家族からのお話を伺う為の声かけやコミュニケーションが十分にできていない。新規の利用者に対して、どのような方なのか把握に時間がかかる為、積極的な関わり・声かけが難しいと感じる職員もある。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>午後の申し送りの時間を継続して設け、職員同士の情報交換・情報共有を図る。新規の利用者へは、特に職員同士の情報交換を密にし、ご本人が安心できるような声かけや関わりを行う。送迎時や家族来所時に、ご家族へ「～どうですか?」といった声かけを加え、ご家族のお気持ちやご自宅の様子などを伺えるように努める。ご家族から得た情報は職員同士で情報交換し共有する。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 11 月 9 日 (18 : 00 ~ 20 : 00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 8 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0 人	4 人	7 人	2 人	13 人

前回の改善計画

多機能会議におけるケース検討で、利用者さんの「～したい」について話し合い共有する。一人一人の利用者さんの目標を共有し、目標に向けた具体的な支援の内容や方法を話し合う。

前回の改善計画に対する取組み結果

多機能会議でケース検討は実施しているが、利用者さんの「～したい」についての話し合いはあまりできず、目標や目標に向けた支援についての話し合いはあまりできなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	1	10	2	13
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	2	10	1	13
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	2	10	1	13
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	4	7	2	13

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

利用者さんとのコミュニケーションは多くとるように努めている。利用者さんとの会話や様子で気になることは職員同士で情報交換し共有している。利用者さんへの対応について実践したことは職員間で共有し次の対応へ活かしている。職員の認知症介護の研修をきっかけに、ご本人がどうしたいかを意識した声かけや関わりをすることができた。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

ご本人・ご家族の意向が把握できておらず、ご本人の目標を意識した関わりができていない。ご本人の気持ちや思いが十分に汲み取れていない、特に自ら発信することが難しい利用者さんについては気持ちを汲み取ることができていない。業務に追われ業務優先になってしまうと、利用者さんの視点ではなく職員目線での関わりになってしまい、目標も職員側が考える「こうした方がよいのでは」という目標になってしまう。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

ご本人を中心にしたご本人目線での支援・ケアを意識して、日々利用者さんと関わり・コミュニケーションをとるようにする。ケース検討では、ご本人を中心としたご本人目線での課題について話し合い、目標を話し合う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 11 月 9 日 (18 : 00 ~ 20 : 00)

3. 日常生活の支援

メンバー 8 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	0 人	9 人	4 人	13 人

前回の改善計画	ご家族と介護職員とが一緒に、介護や支援の方法・目標などについて話し合う機会をつくる。
前回の改善計画に対する取組み結果	家族会の実施でご家族の話を伺うことはできたが、ご家族と介護職員が一緒に話し合う機会はつくれなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか?	0	0	7	6	13
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	0	12	1	0	13
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	6	6	1	13
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	0	13	0	0	13
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	0	9	4	0	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用者の日々の体調・状態の変化は職員間で情報交換し、その都度対応やケアの方法を検討できている。午後の申し送りの実施が定着したことで、職員間の情報共有がよりしやすくなった。家族会で直接ご家族の気持ち聞くことができた。送迎時にご家族からお話を伺い、ご自宅での様子が以前よりご自宅での様子がわかるようになった方もある。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
ご本人の以前の暮らしがわかっていない。ご自宅での様子が十分に把握できていない。ご本人の以前の暮らしやご自宅での様子について、ご家族からお話を伺うことができていない。自立度の高い利用者さんに対して、「たぶんできているだろう」との職員の思い込みから、状態の変化についての把握が十分にできていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
ご家族のお気持ちを直接伺える機会として、家族会を年数回実施する。ご本人の以前の暮らしを知るための方法として、またご家族の思いを伺う方法として、手紙のやり取りやアンケートの実施を行う。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 11 月 9 日 (18 : 00 ~ 20 : 00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 8 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	5 人	6 人	1 人	13 人

前回の改善計画	家族会の開催、ご家族と介護職員と一緒に話し合う機会をつくることで、ご自宅での生活の様子を把握する。地域の方との交流の場として、ほっと Café の内容を検討する。 ノルディックウォーキングに利用者さんと職員と一緒に参加する。
前回の改善計画に対する取組み結果	家族会の開催はできたが、家族と一緒に話し合う機会をつくることはできなかった。 ほっと Café の内容についての検討が十分にできなかった。 ノルディックウォーキングをレクの中で取り入れているが、地域での開催に参加するには至っていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	3	10	0	13
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	3	10	0	13
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	1	11	1	13
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	0	10	3	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
ほっと Café にボランティアさんや演奏等の慰問の方が多く来てくださった。施設の行事に地域の方が来てくださった。まだ機会は少ないが、地域の行事や活動等に事業所の職員が、また利用者さんと職員と一緒に参加することができる。	
訪問や送迎の時には、近所の方に挨拶するように心掛けている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地域の行事や活動に参加できる職員が限られてしまっている。事業所としても利用者さんの支援においても、地域に関心を持ち目を向けることができていない。ご本人のご自宅での様子や地域との関わりについての把握が不十分で、事業所内のケアの検討や業務の検討が多くなってしまっている。	
地域交流の場としてのほっと Café の内容検討が十分にできていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
各職員が地域を意識し、今後も地域の行事や活動に積極的に出向くようにする。	
地域交流の場としてのほっと Café の内容について、職員間で話し合う。ほっと Café を施設外で実施することも検討する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年11月13日(18:00～20:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 4名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	7人	6人	0人	13人

前回の改善計画	日々の情報共有・情報交換を職員間でしっかりと行う。 多機能会議において一人一人の利用者さんの目標について話し合い、職員間で共有し、目標に向けた継続的な支援が行えるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	日々の職員間の情報共有は、申し送りの時間や記録を通じてできている。 利用者さんの目標についての話し合いが十分にできなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	2	10	1	13
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	0	11	2	0	13
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	1	11	1	0	13
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	1	12	0	0	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用者さんの状態変化や日々の体調・状態を職員間で情報共有し、その日の体調や状態に合わせた対応ができている。申し送りや記録を通じて日々情報を共有し、利用者さんのニーズを把握しようと努めている。急な通い・泊りへの対応など、柔軟なサービスの提供や支援を行なっている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地域の資源がわかっていない為、地域資源を活用した支援が行えていない。また利用者さんが、他のどのような地域の資源を活用しているのかを把握できていない。 利用者さんのニーズやニーズの変化を十分に把握・理解できていない。職員の人数や体制により、利用者さんのニーズに十分対応できているとはいえないところがある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
積極的に地域に出向き、地域を関わる機会を多く持って、地域や地域の資源について知る。 多機能会議でのケース検討において、日々の課題についての検討だけでなく、ケアプランの確認や目標についての検討、またその方を理解をする為の情報共有や支援の振り返りを行う。 日々の職員間の情報共有・情報交換は継続してしっかりと行う。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 11 月 13 日 ( 18 : 00 ~ 20 : 00 )

6. 連携・協働

メンバー 4 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0 人	4 人	7 人	2 人	13 人

前回の改善計画
地域との交流の場としてほっと Café の開催を継続し、内容を工夫する。 地域の行事やイベントを活用しての外出活動を行い、積極的に地域へ出向く。 事業所の PR の方法として、外出活動時に職員が着用する T シャツやパーカーの作成を検討する。
前回の改善計画に対する取組み結果
ほっと Café の開催は継続できているが、事業所への地域の方の来訪は少ない。地域の行事やイベントに参加はできたが機会は少なく、地域との関わりがあまり持てなかった。 PR の為の T シャツやパーカーの作成はできなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	0	1	9	3	13
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0	1	8	4	13
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	0	3	7	3	13
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	2	9	2	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	施設の納涼祭やほっと Café に、地域の方がボランティアや慰問で来てくださっている。地域の行事やイベント・清掃活動などに、少しずつではあるが参加ができている。職員だけでなく、利用者さんと職員が一緒に参加する機会も持てた。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	他機関との会議や地域の行事やイベントに参加する職員が、職員の体制や人数から限られてしまっている。地域に向けての事業所の発信や PR が不足している。事業所と地域との日常的な交流はできておらず、地域の方に気軽に事業所を訪れてもらえるような雰囲気づくりや受け入れ体制も十分にできていない。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	地域や他機関・他事業所との関わりについて職員間で情報共有できるように、多機能会議において情報を共有する時間をつくるようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 11 月 13 日 ( 18 : 00 ~ 20 : 00 )

7. 運営

メンバー 4 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0 人	3 人	9 人	1 人	13 人

前回の改善計画	多くの意見をいただけるような取り組みとして、意見箱の設置、アンケートの実施、家族会の開催を行う。事業所の取り組みについてご家族に発信し、事業所のことをもっと知っていただけるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	家族会は 1 回だけだが実施できた。アンケートは実施できていない。意見箱は設置したが活用はできていない。事業所の取り組みや意見箱の設置などについて、家族への発信が十分にできなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	0	3	9	1	13
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	9	4	0	13
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	3	6	4	13
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	2	6	5	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること ご家族からいただいた意見や苦情は、日々の申し送りや情報交換において職員間で情報共有し、対応や支援に反映している。ご家族のお話を直接伺う機会として、家族会が 1 回だけではあるが開催できた。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ご家族や地域の方からの意見や要望を伺う機会が少なく、事業所の運営に反映できていない。地域とのつながり・交流が少なく、地域の方の意見が伺えていない。意見を伺う為の事業所の発信や PR ができていない。小規模多機能の役割・機能を理解しきれておらず、事業所のあり方について意見を言えていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) ご家族からの意見を直接伺える機会として、家族会を年数回開催する。 地域の行事やイベントに積極的に参加し、地域と関わる機会を多く持つ。 「はっと通信」を発行し、事業所や事業所の取り組みを発信する。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 11 月 13 日 ( 18 : 00 ~ 20 : 00 )

8. 質を向上するための取組み

メンバー 4 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0 人	1 人	12 人	0 人	13 人

前回の改善計画	利用者さんのケア・支援の場面でのヒヤリハットをもっと多くあげていくようにする。 外部研修やスキルアップの為の研修にできるだけ職員が参加できるようにしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	ヒヤリハットの件数が少なかった。 外部研修に参加できた職員が少なかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	1	5	4	3	13
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	1	4	7	13
③	地域連絡会に参加していますか	0	1	2	10	13
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0	4	7	2	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること ヒヤリハット・アクシデントといったリスクマネジメントの取り組みはできている。あがってきたヒヤリハットやアクシデントは情報共有し、予防的対応を検討している。 職場内の研修・勉強会に参加ができています。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ヒヤリハットを見落とししてしまったり、記録にあげないままになってしまうことがあり、ヒヤリハットの件数が少ない。ヒヤリハットをあげていくための具体的な取り組みがなく、リスクマネジメントに対する職員の意識も低い為、ヒヤリハットの件数につながっていない。 職員の人数・体制や勤務時間の制約などから、外部研修になかなか参加できていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 申し送りの時にヒヤリハットを議題にあげて発言を促し、職員間での情報共有を行う。
---------------	--



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 11 月 13 日 ( 18 : 00 ~ 20 : 00 )

9. 人権・プライバシー

メンバー 4 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	9 人	3 人	0 人	13 人

前回の改善計画  
特に排泄ケアの声かけについて、プライバシーに配慮した声かけを行うようにする。

前回の改善計画に対する取組み結果  
排泄ケアの際、プライバシーに配慮した声かけを行うよう努めた。聞こえづらい利用者さんに対して、声かけが大きな声になってしまうことがあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	8	3	2	0	13
②	虐待は行われていない	9	3	1	0	13
③	プライバシーが守られている	1	11	1	0	13
④	必要な方に成年後見制度を活用している	0	5	3	5	13
⑤	適正な個人情報の管理ができています	3	9	1	0	13

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
身体拘束、虐待はしていない。個人情報の管理も行えている。身体拘束・虐待に関する研修・勉強会を行っている。  
プライバシーを意識し、プライバシーに配慮したケア・声かけに努めている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
職員側に余裕がないと声かけが大きな声になってしまったり、スピーチロックのような声かけになってしまうことがある。また業務に追われてしまうと、職員側の都合で利用者さんを待たせてしまったり、排泄のタイミングが利用者さんのタイミングに合わなくなってしまうことがある。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)  
職員同士での情報交換を密にして、本人のサインを見逃さず、ご本人のペースを意識した排泄の声かけ・介助を行うようにする。

H30 年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 春風会	代表者	石川 三義	法人・事業所の特徴	「ほっとできる空間～第2の家づくり」を介護理念とし、ご利用者様・ご家族様にとって安心のできる居心地のよい居場所づくり・事業所づくりをめざしています。利用者様が協力して作成した貼り絵や飾りを事業所内に掲示し、干支の貼り絵を地域のコミュニティ祭りに展示しました。日々行う体操・レクリエーションなどの活動、納涼祭・餅つきなどの季節の行事、ドライブや外出活動なども行なっています。併設する託児所の子どもたちとの交流や敷地内遊歩道での散歩は事業所の特色の一つです。地域の行事への参加や、施設行事の地域の方へのご案内、また地域に開放した「ほっと Café」の取り組みなどを通じて多くの地域の方に事業所を知っていただき、地域との交流を図っていかれたらと思っています。
事業所名	小規模多機能型居宅介護支援事業所 プレーゲあしたか	管理者	高橋順子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	0人	1人	0人	3人	1人	0人	3人	人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	家族会を開催する。 一人一人の利用者の目標を共有して支援する。 日々の職員間での情報交換を継続して行う。	家族会を1回だけだが開催することができた。 利用者・ご家族の意向が十分に汲み取れておらず、目標の共有ができていない。 日々の申し送りが定着化し、情報交換・情報共有の意識がより高くなった。	できることから一つ一つ取り組んでいってはどうか。	利用者の状態変化やご家族から得た情報について、職員間でしっかりと情報交換を行う。利用者の目標について共有する。 家族会の開催、アンケートの実施、手紙のやり取り等で、ご家族とのコミュニケーションを深める。
B. 事業所のしつらえ・環境	多機能ダイフロアアの廊下側の出入り口に、「多機能入口」のボードを置く。 不審者対応の訓練の実施について検討する。	「多機能入口」のボード設置は行えなかった。ほっと Café 開催時はボードを設置している。 不審者対応の訓練は実施できなかったが、施設としての対策・対応マニュアルはできている。	ここがどういう施設なのか関心をもってもらえるような、外部の方がわかりやすいような環境面の工夫が必要なのではないかと。 玄関外に入口がわかりやすい矢印などの掲示をしてはどうか。 ほっと Café の案内について、外からわかりやすく入りやすいように、幟を施設の敷地入口と玄関の2カ所に立ててみてはどうか。	ほっと Café 開催時、施設の敷地入口と玄関の外に、案内の掲示や幟を出すようにする。
C. 事業所と地域のかかわり	ほっと Café の開催を継続する。 利用者や来訪者がくつろいで過ごせるような Café の空間・内容を検討する。 地域の行事やイベントに継続して参加する。	ほっと Café は継続して開催できている。ボランティアさんや慰問の方も多く来てくださった。 地域のイベントや行事に、職員や、利用者も一緒に参加することができた。	事業所が地域に認知され、相談がしやすいような信頼される事業所になるためには、口コミも重要だと思う。日々の活動や取り組みに努めていくことも大切であると思う。	ほっと Café の開催を継続する。 地域の行事や活動に参加、協力する。 訪問や送迎の際、近所の方によりしっかりと挨拶する。